



平成30年9月3日
大阪管区気象台

近畿地方の梅雨入りと梅雨明けについて

平成30年の春から夏にかけての実際の天候経過を検討し、近畿地方の梅雨入りと梅雨明けの確定について、以下のとおりお知らせします。

	梅雨入り		梅雨明け
本年	6月5日ごろ	本年	7月9日ごろ

(参考)

1. 近畿地方の梅雨入りと梅雨明け(平年、昨年)

	梅雨入り		梅雨明け
平年	6月7日ごろ	平年	7月21日ごろ
昨年	6月20日ごろ	昨年	7月13日ごろ

2. 平成30年の梅雨の時期(6~7月)の代表的な地点における降水量と平年比及び階級

観測点	降水量(ミリ)	平年値(ミリ)	平年比(%)	階級
豊岡	504.0	336.8	150	かなり多い
舞鶴	622.5	350.4	178	かなり多い
京都	577.5	434.4	133	多い
彦根	520.5	408.2	128	多い
姫路	560.0	331.6	169	かなり多い
神戸	747.0	333.7	224	かなり多い
大阪	524.0	341.5	153	かなり多い
洲本	774.5	340.7	227	かなり多い
和歌山	630.0	333.5	189	かなり多い
潮岬	535.0	642.6	83	平年並
奈良	538.5	353.8	152	かなり多い

(降水量は速報値、平年値は1981~2010年の平均値です。)

(注意事項)

- ・梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「日ごろ」と表現しています。

問合せ先：気象防災部 地球環境・海洋課 季節予報担当
電話 06-6949-6653 FAX 06-6949-6160